

日野連109-133号

2018年1月18日

JABA 各地区連盟 御中

JABA 各加盟地方団体 御中

JABA 各加盟チーム 御中

公益財団法人 日本野球連盟  
規則・審判委員会



BFJ アマチュア野球規則委員会通達事項に対する JABA としての取扱いについて

さて、標題の件、BFJ アマチュア野球規則委員会より通達文書（別紙①～③）を受けて、JABA としての取扱いについて下記のとおりと致します。

つきましては、各地区連盟及び各加盟団体、各加盟チームにおいてご確認の上、周知徹底をお願い致します。なお、不明な点に関しましては事務局までご連絡下さい。

記

1、BFJ からの通達事項等に対する JABA としての取扱い

(1) 走者がいる場合の取扱い

別紙①について走者が塁にいる場合、以下の事例はボークとなる（変更なし）。

	事例	罰則	適用
1	ストレッチをしようとして動作を開始したが、途中でやめた。	ボーク	6.02(a)(1) 5.07(a)(2)
2	ストレッチの途中でいったん動作が止まったが、そのまま両手を合わせてセツポジションをとった。	ボーク	6.02(a)(1) 5.07(a)(2)
3	投球動作を開始して自由な足を上げたが、途中でやめて投球しなかった。	ボーク	6.02(a)(1) 5.07(a)(1),(2)
4	投球動作を開始して自由な足を上げ、いったん動作が止まったが、そのまま投球した。	ボーク	6.02(a)(1) 5.07(a)(1),(2)
5	投球動作を開始して自由な足を上げ、いったん動作が止まったが、そのまま塁に送球した。	ボーク	6.02(a)(1) 6.02(a)(3) 5.07(a)(1),(2)

6	投球動作を開始して、自由な足を上げ下げして、そのまま投球した。	ボーク	6.02(a)(1) 5.07(a)(1),(2)
7	投球動作を開始して、自由な足を上げ下げしてから、塁に送球した。	ボーク	6.02(a)(1) 6.02(a)(3) 5.07(a)(1),(2)

社会人野球においては「日本流二段モーション」は正しい投げ方ではないという前提があり、公認野球規則では「二段モーション」という言葉自体もない。この事からも公認野球規則での“one continuous motion”（一連の動作）の解釈を難しくしている。今回の改正においても、「日本流二段モーション」をなくすことに変わりはない。

(2) ベンチ前のキャッチボールの禁止および“ミットを動かすな”運動の展開について

①ベンチ前のキャッチボール等の禁止について

2018年のシーズンより全ての試合に適用する。また、本取扱を実施するにあたり、JABAが特別規則等で定めている「準備投球は5球とする」項目は削除し、公認野球規則「5.07(b)準備投球」に基づくものとする。

なお、この場合の1分間の計測は「投手が準備投球をスタートした時点から」とし、二塁塁審が計測する。

② “ミットを動かすな”運動の展開について

別紙②の記載事項を指導徹底する。

(3) 没収試合防止に向けて

別紙③に記載のとおり取扱う。

2、2018年度規則改正事項

正式な通知をもって、通達する。【広報予定日2018年1月29日(月)】

以上